

## 共助型乗り合い公共交通サービス「ノッカルにしかわ」 山形県西川町大井沢地区で運行を開始

山形県西川町（町長：菅野大志、以下西川町）と株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）は、西川町大井沢地区において、共助型の乗り合い公共交通サービス「ノッカルにしかわ」の運行を開始いたしました。本事業は、デジタル田園都市国家構想 Type1 の採択を受けたもので、「ノッカル」は山形県内において初の導入となります。



### ノッカルにしかわ

西川町の人口は約 5,000 人で、そのうち高齢者のみの世帯が約 1/3 を占めています。これまで、高齢者をはじめとした地域住民の移動は、町営の路線バスやデマンド型乗り合いタクシーなどの公共交通が支えてきました。高齢化に伴う運転免許返納者の増加が予想されることに加え、人口減少による公共交通の運行本数や路線減少が続く中、高齢者の移動ニーズへの対応が課題となっていました。

西川町が運行主体として提供する公共交通サービス「ノッカルにしかわ」は、大井沢地区の住民がドライバーとなり、移動ニーズのある同地区内の方が利用する「住民同士が支え合う MaaS（Mobility as a Service）」です。

西川町が認定した大井沢地区内のドライバーとユーザーを、博報堂 D Y グループが開発したシステム上でマッチングし、ドライバーが車で同地区のユーザーを目的地まで送迎します。システムを活用することで管理者のオペレーションに係る負担を軽減し、助け合いの精神により、ドライバーが地域の高齢者をはじめとした住民の移動をサポートすることで、地域内移動の利便性向上と効率化を実現させます。

## ■「ノッカルにしかわ」サービス概要

「ノッカルにしかわ」は、地域内の施設と自宅を行き来したい乗客が、住民が運転する車に「乗っかる」仕組みで、助け合いによる完全予約型の乗合交通です。

ドライバーは助け合いの精神のもと、自分の予定に合わせ、地区内の利用者を車に乗せ、目的地まで送迎します。利用者は、前日までに電話で予約をし、ドライバーの車で目的地まで移動します。

- ・運行エリア：大井沢地区内
- ・利用方法：会員登録制
- ・予約方法：前日 17 時まで電話予約
- ・乗車方法：乗車予定時刻の 5 分前までに指定場所で車両を待つ
- ・利用料金：無料

## ■各者の役割

- ・西川町：運行主体、ドライバー及び利用者の募集及び管理
- ・西川町総合開発株式会社：ノッカルにしかわの予約受付・運行管理
- ・博報堂：サービス設計、コミュニケーションデザイン設計
- ・博報堂テクノロジーズ：システム開発・設計・運用

---

### 【本件に関するお問い合わせ】

西川町 町民税務課 生活環境係 土田・飯野・奥山

TEL:0237-74-4118 e-mail:seikatsu@town.nishikawa.yamagata.jp

株式会社博報堂 広報室 白川・三矢 TEL:03-6441-6161 e-mail: koho.mail@hakuhodo.co.jp